愛鉄連健康保険組合

朝礼用原稿

３月号

愛鉄連健康保険組合から、「健康ニュース」のご案内です。

◇◆便潜血検査は何の検査？◆◇

　便潜血検査は組合の基本健診項目となっており、受けたことがある人は多いかと思います。今回は便潜血検査についてお話します。

◆便潜血検査とは？◆

　便潜血検査とは、便に血が混ざっていないかを確認し、消化管の病気を調べる検査です。痔や直腸がんなどによる出血は便周辺に血が付着するため、すぐわかりますが、それより上部の大腸や小腸では、出血していても肉眼ではわかりません。このように痔や直腸だけでなく、大腸や小腸など肉眼でわからない血液（潜血）が出ていないかを調べます。

◆陽性の場合、疑われる病気◆

上部消化管出血：食道静脈瘤、食道がん、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなど

下部消化管出血：大腸がん、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎、大腸憩室炎、寄生虫など

その他：肝胆道疾患、すい臓がんなど

◆精密検査方法◆

大腸内視鏡検査：肛門から内視鏡を挿入して腸内を観察する検査

注腸造影検査：腸に造影剤を注入してＸ線撮影を行う検査

大腸 CT 検査：炭酸ガスで膨らませた大腸を CT 装置で撮影し、コンピューター処理によって作成した三次元画像を元に大腸を調べる検査

大腸カプセル内視鏡検査：一般的な薬のカプセル形状をした内視鏡を水と一緒に飲み込み、腸管内部を進みながら内臓の小型カメラで写真を撮影する検査

※注腸造影検査や大腸 CT、大腸カプセル内視鏡検査で所見が出た場合、大腸内視鏡検査で病変の組織を一部採取して病理検査を行う場合もあります。大腸の精密検査は、事前に下剤を服用し、腸の中をきれいにしてから検査しますので、複数回の受診が必要となります。どの検査を希望するかを考え、検査を実施している消化器科や消化器内科へ健診結果を持参の上ご受診ください。

◆大腸がんの自覚症状◆

〇血便（便に鮮血又は黒色の血液が混じります）

〇残便感

〇下痢や便秘を繰り返す

〇便が細くなる

〇腹痛や腹部膨満感

〇貧血や立ちくらみ　　など

便潜血検査の結果、陰性であっても、大腸がんなどである可能性はあります。自覚症状が継続している場合は、便潜血検査だけで判断せず、病院を受診して精密検査を受けることをお勧めします。

◇◆困った時は「愛けんぽファミリー健康相談」を活用しよう◆◇

組合では、24 時間年中無休、無料で利用できる電話健康サービスを提供しています。匿名で医師や保健師、看護師等の専門スタッフが、一般的な健康相談から、病院の受診に関すること、育児・介護、メンタルヘルスの相談ができます。電話だけでなく、メールでの相談も可能です。健診の結果で大きな病気ではないかと不安に思ったとき、相談して専門職に背中を押してもらうことで気持ちが楽になることもあります。どの科に受診すると良いか迷ったときもお近くの病院を教えてくれますので是非ご活用ください。

愛・けんぽファミリー健康相談の電話番号は、0120-253728 となっています。詳細は組合ホームページをご覧ください。